

8 - 2 調査対象校の学校運営状況

学校名:	Phobjikha Primary School		
県/Dzonkhag:	Wangue	郡/Gewog:	Phobji
校長:	Ms. Lhama Tshering	県教育担当官:	Ms. Namgay Tshering
背景:	1979年にPSとして開校(コミュニティによる支援)		



生徒数:	550人	設置学年:	PP-6
教員数:	10名(男性9名、女性1名)	スタッフ数:	1名(男性1名、女性0名)

	男性	女性	計		男性	女性	計
有資格教員	9	1	10	ブータン人教員	9	1	10
無資格教員	0	0	0	インド人教員	0	0	0
計	9	1	10	計	9	1	10

	Primary						LSS		MSS		HSS		計	
	PP	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		12
生徒数	96	91	71	87	76	67	62	-	-	-	-	-	-	550
クラス数	2	2	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-	-	14
使用教室数	2	2	2	2	2	2	1	-	-	-	-	-	-	13
留年者数	6	8	7	5	5	4	7	-	-	-	-	-	-	42
退学者数	1	4	1	3	2	3	1	-	-	-	-	-	-	15
通学生	96	91	71	87	76	67	62	-	-	-	-	-	-	550
寮生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

授業シフト:	一部制
複式学級:	なし

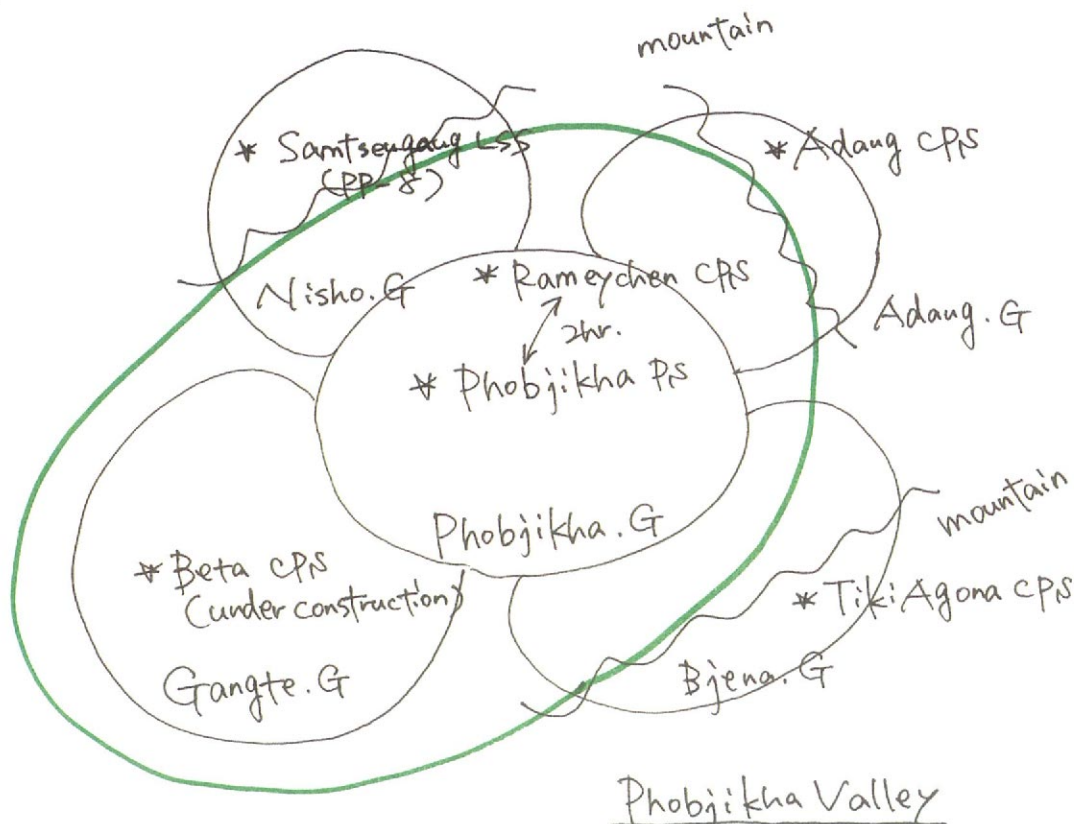
寮施設:	なし
教員宿舎:	なし

学校運営委員会:	あり	メンバー:	16名(校長、教員9名、地域住民6名)	PTA:	あり
活動内容:	軽微な施設修理(労働提供)、教育				
学校開発費:	徴収している/年間30ヌルタム				
用途:	学校行事、学校レベルの教員トレーニング				

学区:	PSはPhobjikha谷に面している5つの郡(但し、3郡は山の谷に面している側のみ)、LSS・MSSは県内全域から
近隣校の状況:	Rameychen CPS(PP-6学年、生徒数193名、教員数4名)、対象校からの距離約8km・徒歩2時間
CPSの状況:	通学地域内に2校のCPS建設予定あり。Beta CPSは2004年6月に開校予定だったが木材確保に問題(対象校からの距離約5km・徒歩75分)、Gangphel CPSは2006年2月開校予定で6教室・PP-3学年のみ(対象校からの距離徒歩90分)

周辺地域の状況:	Wangdue県には15の郡		
郡/Gewog内の人口:	学区の5郡で約700世帯、6,000人以上	地域住民の平均年間収入:	約25,000ヌルタム
地域住民の従事産業:	農業(いも、そば(家畜用))、家畜(自給自足)		
コミュニティとの関係:	施設利用なし、寄付や労働提供を通じこれまでにトイレ建設・屋根の修理等を支援		
ノンフォーマル教育の実施:	なし		
その他:	Phobjikha谷が野生丹頂鶴の飛来地となっているため、既存施設の移転を促されている		

<通学状況>



学校名:	Genekha Lower Secondary School		
県/Dzongkhag:	Thimphu	郡/Gewog:	Gene
校長:	Ms. Kencho Wandri	県教育担当官:	Ms. Sonam Tshering
背景:	1990年にCPSとして開校、2003年にLSSへグレードアップ		



生徒数:	178名 (PS145名、LSS33名)			設置学年:	PP-8
教員数:	11名 (男性9名、女性2名)		スタッフ数:	6名 (男性4名、女性2名)	

	男性	女性	計		男性	女性	計
有資格教員	8	2	10	ブータン人教員	9	2	11
無資格教員	1	0	1	インド人教員	0	0	0
計	9	2	11	計	9	2	11

	Primary						LSS		MSS		HSS		計	
	PP	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		12
生徒数	32	31	21	17	17	15	12	23	10	-	-	-	-	178
クラス数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	9
使用教室数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	9
留年者数	6	4	4	3	3	1	1	3		-	-	-	-	25
退学者数	2			1	2		1			-	-	-	-	6
通学生	2	2	2	1						-	-	-	-	7
寮生	30	29	19	16	17	15	12	23	10	-	-	-	-	171

授業ソフト:	一部制
複式学級:	なし

寮施設:	あり
教員宿舎:	あり: 教員3名、スタッフ2名

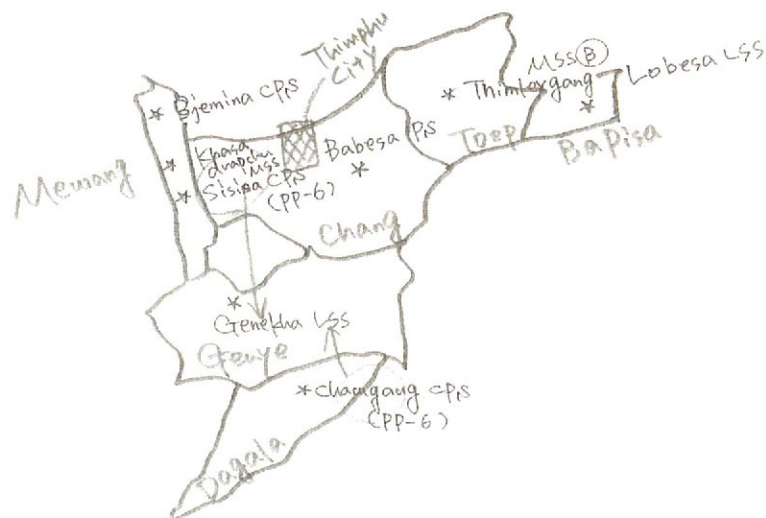
学校運営理事会:	あり	メンバー:	16名(校長、教員5名、郡リーダー、地域住民7名)	PTA:	あり
活動内容:	軽微な施設修理(労働提供)				
学校開発費:	徴収している/年間100ヌルタム(初等・中等ともに)				
用途:	軽微な施設修理ほか				

学区:	Gene郡と周辺地域(Chang郡やDagala郡)				
近隣校の状況:	Mewang郡にあるSisina PSが最近隣(PP-1学年のみ、生徒数40名、教員数2名)、対象校からの距離約12km				
CPSの状況:	Gene郡内にはCPSなし				

周辺地域の状況:	Thimphu県は10の郡と町からなる、Gene郡と周辺は県内で最も貧しい地域				
郡/Gewog内の人口:	約163世帯、約2,500人	地域住民の平均年間収入:	約25,000~30,000ヌルタム		
地域住民の従事産業:	農業(小麦、さやえんどう、大麦、いも、まつたけ) *米がとれないので非常に貧しい				
コミュニティとの関係:	施設利用あり(集会、成人識字教育、宗教行事)、これまでコミュニティの支援により多くの施設建設を実施				
ノンフォーマル教育の実施:	あり(退学者向け補習授業、学齢以上の青少年向け補習授業、成人識字教育)				

その他:	2003年のアップグレードの際に現サイトへ移転、Thimphu県には寮制の学校がMSS1校しかないので、非公式に寮生として生徒を受け入れている、但し寮設備がないので旧教室を転用したりコミュニティが建設した小屋を利用、環境は劣				
------	--	--	--	--	--

<通学状況>



学校名:	Kabjisa Lower Secondary School		
県/Dzonkhag:	Punakha	郡/Gewog:	Kabje
校長:	Mr. Jurmey Dukpa	県教育担当官:	Ms. Kinley Pem
背景:	1966年にCPSとして開校、2003年にLSSへアップグレード		



生徒数:	570人 (PS484名、LSS86名)		設置学年:	PP-8
教員数:	14名 (男性11名、女性3名)	スタッフ数:	3名 (男性0名、女性3名)	

	男性	女性	計		男性	女性	計
有資格教員	11	3	14	ブータン人教員	10	3	13
無資格教員	0	0	0	インド人教員	1	0	1
計	11	3	14	計	11	3	14

	Primary						LSS		MSS		HSS		計	
	PP	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		12
生徒数	76	86	67	73	81	55	44	49	37	-	-	-	-	568
クラス数	2	2	1	2	2	1	1	1	1	-	-	-	-	13
使用教室数	2	2	1	2	2	1	1	1	1	-	-	-	-	13
留年者数	3	3	4	4	5	10	8	3		-	-	-	-	40
退学者数	4	2	2	4	4	1	3	2	2	-	-	-	-	24
通学生	69	85	67	70	76	50	33	14	11	-	-	-	-	475
寮生	2	0	1	2	2	6	9	33	23	-	-	-	-	78

授業シフト:	一部制
複式学級:	なし

寮施設:	あり(但し閉鎖予定)
教員宿舎:	あり:校長のみ

学校運営委員会:	あり	メンバー:	9名(学校関係者4名、地域住民5名)	PTA:	あり
活動内容:	軽微な施設修理(労働提供)				
学校開発費:	徴収している/年間100ヌルタム(初等・中等)、寮生はさらに年間50ヌルタム				
用途:	軽微な施設修理、学校行事、娯楽、学用品				

学区:	Kabjisa郡とChhubu郡の一部
近隣校の状況:	なし
CPSの状況:	Chhubu郡にNawakha CPSを9次計画中に建設予定

周辺地域の状況:	Paro県には11の郡、Naja郡には9つの村がある		
郡/Gewog内の人口:	約450世帯、2,000人以上(1999年時点)	地域住民の平均年間収入:	約30,000~40,000ヌルタム
地域住民の従事産業:	農業(米、野菜、いも)、小さな家畜 *オレンジは以前は栽培していたがやめた		
コミュニティとの関係:	施設利用あり(住民集会)、学校施設(教室・寮)の建設・増設やアクセス道路工事を積極的に支援(労働提供)		
ノンフォーマル教育の実施:	なし		
その他:	既存の寮施設は計画実施後に閉鎖し、通学校となる予定		

<通学状況>



学校名:	Bitekha Lower Secondary School		
県/Dzongkhag:	Paro	郡/Gewog:	Naja
校長:	Ms. Sonam Dorji	県教育担当官:	Mr. Wangchuk Namgyal
背景:	1963年にPSとして開校、2002年にLSSへアップグレード		
生徒数:	406人 (PS324人、LSS82人)		設置学年: PP-8
教員数:	12名(男性6名、女性6名)	スタッフ数:	5名(男性2名、女性3名)
	男性	女性	計
有資格教員	6	6	12
無資格教員	0	0	0
計	6	6	12
	男性	女性	計
ブータン人教員	6	6	12
インド人教員	0	0	0
計	6	6	12



	Primary						LSS		MSS		HSS		計	
	PP	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		12
生徒数	51	40	60	37	52	37	47	40	42	-	-	-	-	406
クラス数	1	1	2	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	10
使用教室数	1	1	2	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	10
留年者数		1	2	2	1	1	8	5	5	-	-	-	-	25
退学者数			3				1			-	-	-	-	4
通学生	51	50	59	47	50	33	39	30	6	-	-	-	-	365
寮生			1		2	4	8	10	36	-	-	-	-	61

授業シフト:	一部制
複式学級:	なし

寮施設:	あり
教員宿舎:	あり: 教員3名、スタッフ1名

学校運営委員会:	あり	メンバー:	6名(校長、郡リーダー、郡代表議員、教員、保護者、地域住民)	PTA:	あり
活動内容:	軽微な施設修理(労働提供)、資金援助				
学校開発費:	徴収している/年間100ヌルタム(中等)				
用途:	軽微な施設修理、学校行事				

学区:	Naja郡と周辺地域(Doga郡、Haa県の1郡、Chukha県の3郡)
近隣校の状況:	Dawakha LSS(PP-8学年、生徒数372名、教員数10名)、対象校からの距離約35km・徒歩約40分
CPSの状況:	Naja郡にはNabesa CPS(PP-6学年)のみ

周辺地域の状況:	Paro県には11の郡、Naja郡は最も大きい最貧地域(乾燥地帯にあり農作物があまりとれない)		
郡/Gewog内の人口:	約5,000人	地域住民の平均年間収入:	約5,000~10,000ヌルタム
地域住民の従事産業:	農業(小麦)、畜産業(牛):乾燥地のため作物ができない		
コミュニティとの関係:	コミュニティによる施設利用あり(成人識字教育、住民集会)、施設改修・整備への支援(屋根、給水システム)		
ノンフォーマル教育の実施:	あり(成人識字教育)		
その他:	多くの人が教育を受けられずに、そのまま農家になっている		

<通学状況>

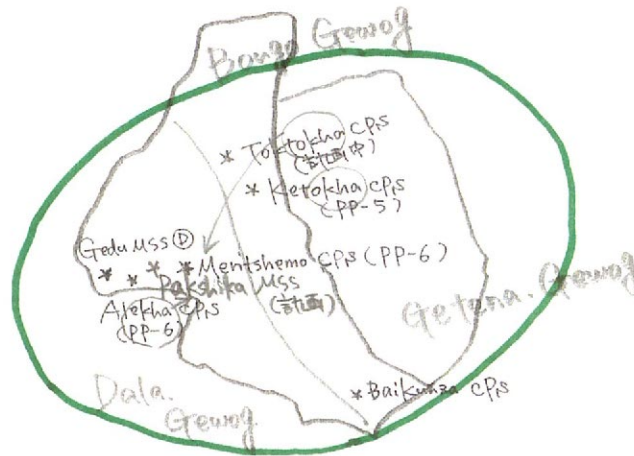


学校名:	Pakshikha Middle Secondary School (新設校)		
県/Dzonkhag:	Chukha	郡/Gewog:	Bongo
県教育担当官:	Mr. Tshewang Rinzin		
現状:	近隣地域に教育アクセスがない。初等教育については通学できる距離内にCPSもないため、地域には未就学児童や、遠くの学校に通っていたが通えずに中途退学してしまった子どもが多い。中等教育についても郡内のMSSは通学校で、他の寮制の学校も過密によりキャパシティが十分でない。地域内に寮施設を備えた初等・中等教育施設のニーズが極めて高い。		
計画予定学区:	Bongo郡(18村)およびDala郡(3村)とGenena郡の一部		
近隣校の状況:	Gedu MSS (PP-10学年、生徒数1,471名、教員数43名)、通学校、対象校からの距離徒歩約3時間		
CPSの状況:	地域から約1.5kmのところ1校建設中		



周辺地域の状況:	Chukha県には11の郡、Bongo郡は最大(面積)、郡全体では約550世帯		
郡/Gewog内の人口:	約35世帯、約350人(Pakshikha村)	地域住民の平均年間収入:	約10,000~20,000ルタム (自給自足)
地域住民の従事産業:	農業(米、とうもろこし、いも、オレンジ)		
コミュニティとの関係:	地域における学校の必要性は非常に高く、周辺の村で協力しながら積極的に学校を支援していく		

<通学状況>



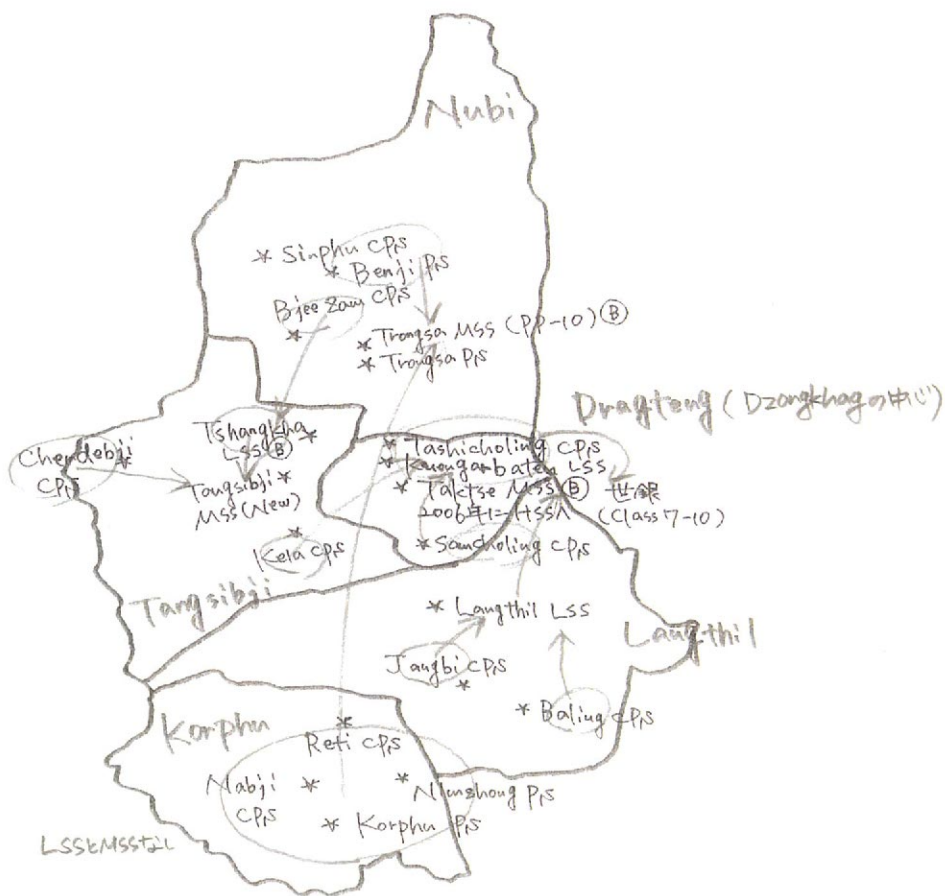
学校名:	Tangsibji Middle Secondary School (新設校)		
県/Dzongkhag:	Trongsa	郡/Gewog:	Tangsibji
県教育担当官:			
現状:	現在、MSSからはTrongsa MSSへ通わせているが、Tshangkha LSSも一時的にPSをアップグレードしているに過ぎず、郡内に寮施設を備えた中等施設のニーズが高い。計画実施後にはTshangkha LSSは寮制を廃止しPSに戻す予定。		
計画予定学区:	Tangsibji郡と一部周辺		
近隣校の状況:	Tshangkha LSS (PP-8学年、生徒数242名、教員数10名)、対象校からの距離徒歩約2時間		
CPSの状況:	郡内に既存2校		



周辺地域の状況:	Trongsa県には5の郡		
郡/Gewog内の人口:	約235世帯、約3,000人	地域住民の平均年間収入:	約30,000~40,000ヌルタム
地域住民の従事産業:	農業(米、とうもろこし、いも、大麦、小麦)		
コミュニティとの関係:	Tshangkha LSSは1993年にコミュニティからの労働提供により建設された、住民の教育に対する関心は高い		

<通学状況>

Tshangkha LSSは
ニ=shif=校舎付き
PS→LSSと2校2校
⇒PSは校外施設もあればPSに戻す



学校名:	Bartsham Lower Secondary School		
県/Dzongkhag:	Trashigang	郡/Gewog:	Bartsham
校長:	Mr. Ugyen Pempa	県教育担当官:	Mr. Jigme Yangtse
背景:	1987年にCPSとして開校、1991年にPS(PP-6)へ、2003年にLSSへアップグレード		



生徒数:	421名 (PS350名、LLS71名)		設置学年:	PP-8
教員数:	14名 (男性8名、女性6名)	スタッフ数:	3名 (男性1名、女性2名)	

	男性	女性	計		男性	女性	計
有資格教員	7	4	11	ブータン人教員	7	6	13
無資格教員	1	2	3	インド人教員	1	0	1
計	8	6	14	計	8	6	14

	Primary						LSS		MSS		HSS		計	
	PP	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		12
生徒数	55	47	58	48	52	53	37	40	31	-	-	-	-	421
クラス数	1	1	2	1	1	2	1	1	1	-	-	-	-	11
使用教室数	1	1	2	1	1	2	1	1	1	-	-	-	-	11
留年者数	4	3		1	4			6		-	-	-	-	18
退学者数						1		1		-	-	-	-	2
通学生	55	47	58	48	52	53	37	40	31	-	-	-	-	421
寮生										-	-	-	-	0

授業シフト:	一部制
複式学級:	なし

寮施設:	なし
教員宿舎:	なし

学校運営理事会:	あり	メンバー:	9名 (校長、郡リーダー2名、教員2名、保護者4名)	PTA:	あり
活動内容:	軽微な施設修理 (労働提供)				
学校開発費:	徴収している/年間100ヌルタム (中等)				
用途:	軽微な施設修理、学校行事				

学区:	PSはBartsham郡内の12集落、LSSとMSSはその他5郡とTrashiyangtse県の3郡
近隣校の状況:	現在はなし
CPSの状況:	Yingom CPS(PP-2)が2005年開校予定、Muktangkhar CPSは閉校中

周辺地域の状況:	Trashigang県には16の郡、Bartsham郡地域はTrashigang県の中では生活水準はよい		
郡/Gewog内の人口:	約430世帯、約3,500人	地域住民の平均年間収入:	約5,000~6,000ヌルタム
地域住民の従事産業:	農業 (米、とうもろこし、いも)		
コミュニティとの関係:	施設利用あり (成人識字教育、レクリエーション、宗教行事)、コミュニティの関心は非常に高い		
ノンフォーマル教育の実施:	あり (成人識字教育、退学者に対する補習授業)		
その他:	CPS1校が閉校中のため郡内に学校は当校のみ、教育ニーズが非常に高く地域住民の関心も高い		

<通学状況>

